

2 工事監査

都が行っている工事等について、計画・設計・積算・施工・維持管理等の各段階で、不経済な支出や不適切な施工がないかなどを技術面等から監査しています。

平成26年工事監査は、下記のとおり実施しました。

● 監査実施状況

	監査実施状況	実施率
件数	1,558件	10.3%
金額	4,779億円	27.2%



工事監査の様子

監査の結果

19局・1,558件の
工事を監査し

指摘 27件

指摘金額 2,585万円

※ 過大積算（12件）の額

主な指摘事項

送風機等のサイズ選定を誤っていたもの

生活文化局（指摘金額 263万円）

状況

東京文化会館の空調設備などの改修工事のうち、更新する送風機と排風機7台について見ると、必要な能力に対応したサイズの機器を選定すべきところ、誤って大きなサイズを選定していました。

指摘

選定の誤りにより、積算額263万円が過大となっており、送風機等のサイズ選定を適切に行うよう求めました。

鉄筋を正しい位置や方向に取り付けていなかったもの

水道局

状況

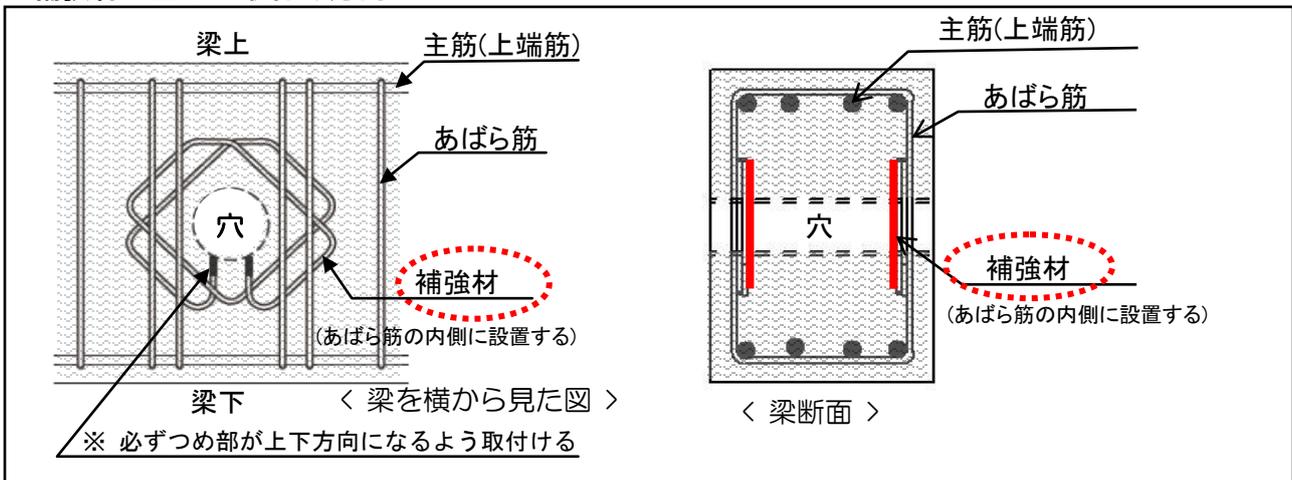
梁（はり）は建物の水平方向に設けて屋根や床を支える構造材で、強度を保つ役割があります。このため、梁に配管や電線を通すために穴を開けた際は、鉄筋でその周りを補強する必要があります。

しかし、浄水場の自家発電機室建設工事では、補強のための鉄筋を正しい位置や方向に取り付けていなかったため、補強材の性能が十分に発揮できていませんでした。

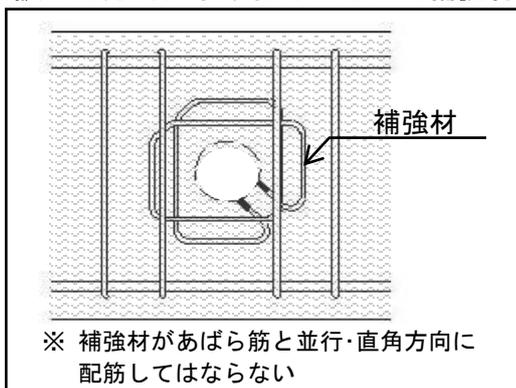
指摘

局に対し、鉄筋工事の施工管理について受注者を適正に指導・監督するよう求めました。

・補強材の正しい取付け方向



・誤った方向に取り付けられた補強材



・施工写真

